

市町村名		南大東村					
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1－①	健康診査用機材搬送事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章－3－（11）－イ		
担当部署名	福祉民生課	事業実施 （予定）年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ－9		
事業内容	特定健診等の集団健診に使用する健診機材及び胸部レントゲン車の海上移送船運賃及び荷役料、検査技師等の来島渡航費の負担軽減を図り、住民健診が安定的に実施できる環境を整えることにより定住促進を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,267	1,094	1,787	1,939	
		(b) 予算現額	822	1,172	423	431	
		(c) 増減額（b-a）	▲ 445	78	▲ 1,364	▲ 1,508	
		(d) 繰越額	－	－	－	－	
		A. 計（b+d）	822	1,172	423	431	
	B. 執行済額		822	1,172	423	431	
	うち交付金充当額		657	937	338	345	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率（％）（B/A）		100.0％	100.0％	100.0％	100％	
予算の状況の説明		当初、予定していた胸部レントゲン車の海上移送は、委託している医療機関との交渉が実現できず、今回も沖縄県立南部医療センター（親病院）の使用許可と附属南大東診療所の協力により、診療所での利用となったため、予算削減となった。検査技師等スタッフ来島渡航費の委託料は、合計431,700円（結核・肺がん検診176,400円、大腸がん検診58,800円、乳がん・子宮がん検診196,500円）であった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	1. 集団健診機材の海上輸送運賃の補助	目 標	（ 補助の実施 ）	（ 補助の実施 ）	（ 補助の実施 ）	（ 補助の実施 ）	
		実 績	補助の実施	補助の実施	未実施	未実施	
	2. 検査技師等スタッフ来島渡航費の補助	目 標	（ ）	（ ）	（ 補助の実施 ）	（ 補助の実施 ）	
		実 績			補助の実施	補助の実施	
達成状況説明	今回も沖縄県立南部医療センター（親病院）の使用許可と附属南大東診療所の協力により、診療所での利用となった。受診率アップのため住民検診と近い日程を設定し、実施に至ったため、前年より受診率60.2%増に繋がった。検査技師等スタッフ来島渡航により、各種がん検診を実施することができ、住民一人一人の健康状態を確認でき、要再検・要精査の方には、通知により再受診を勧奨する事ができ、早期発見、早期治療に繋がった。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値 （ 23年度 ）	25年度	26年度	27年度	目標値 （ 年度 ）
	集団健診受診者数：360人（41.0％）	目 標	（ 325 ）	（ 570人（55.1％） ）	（ 360人（55.1％） ）	（ 570人（55.1％） ）	（ ）
		実 績		456人（44.1％）	397人（45.2％）	523人（91.7％）	
	【参考指標】胸部レントゲン撮影者数	目 標	（ ）	（ 570人（55.1％） ）	（ 360人（55.1％） ）	（ 570人（55.1％） ）	（ ）
		実 績		416人	269人（30.6％）	431人（75.6％）	
	進捗状況説明	平成26年度は、胸部レントゲン撮影を島内の診療所で受診できたため、移送費用の軽減に繋がった。しかし、成果目標に対する受診実績は低下し、前年比の実績も減となった。胸部レントゲン車両を要望、同時検診希望したが、実現に至らなかった為、住民健診の日程と近い日に設定したところ、住民の協力や、広報等により受診率アップとなった。また、各種がん検診実施のための、検査技師等スタッフの派遣により、継続して実施する事ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	昨年に引き続き、胸部レントゲン車移送の実現に至らなかったため、診療所での胸部レントゲン撮影の実現に変更となった。これまでの受診率低下が懸念されたため住民検診と近い日程を設定し、実施となったため前年より31.72%増となった。しかし、住民検診の受診率と診療所での胸部レントゲン撮影者の受診率に開きがあり17.6%の落ち込みであり、集団検診と同日に実施することが検診率アップになると考えられるが、実施できる時期が「診療所の休診日で行うこと」「急患が発生した場合、検診は、一時ストップ」となるため、住民の方の理解が得にくい状態である。	移送費経費節減には繋がったが、診療所での使用条件では、集団検診受診者と同数の受診向上は見込めないと判断した。受診率向上には、集団検診、胸部レントゲン撮影を同時に行う必要があるため、胸部レントゲン車移送実現のため、検診医療機関に要望している。
今後の取り組み方針		
今年度、レントゲン車の海上移送は、県外の医療機関に依頼の交渉をしたが、実現に至らなかったため、村内にある県立の診療所内のレントゲン機器が使用可能となった。今後、レントゲン車の海上移送も検討し、実施医療機関や実施できる方法の検討会を沖縄県担当部に交渉していく。結核や肺がん、各種がん検診の病気の早期発見、早期治療に繋がるため、受診率勧奨を強化し、検診率の向上に努力する。又、検診結果、要精査の方々の把握により、早期に精査の受診勧奨を行う。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>431</td><td>431</td><td>345</td><td>86</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	431	431	345	86	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
431	431	345	86	0										
南大東村 431千円 → 委託料 431千円 → (一財)沖縄県健康づくり財団 (○ 検診スタッフの渡航費)														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている一般財団法人であるため妥当である。 ○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。 ○費用・使途が事業目的に即し、検査時に書類等で確認しており、真に必要なものに限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	専門病院受診渡航費助成事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	福祉民生課	事業実施 (予定)年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	沖縄本島で専門の治療や検査の受診を余儀なくされている住民の経済的負担を軽減するため、渡航費を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	5,685	4,491	5,912		
		(b)予算現額	2,913	5,809	7,068		
		(c)増減額(b-a)	▲2,772	1,318	1,156		
		(d)繰越額	—	—	—		
		A.計(b+d)	2,913	5,809	7,068		
	B.執行済額		2,913	5,809	7,068		
	うち交付金充当額		2,331	4,647	5,654		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100%	100%		
予算の状況の説明		当初予算では210人を想定し、予算計上したが、実績では375人と大きく上回った。 【助成金利用者内訳】 患者306人／5,783,027円、付添人／69人1,285,223円、合計375人／7,068,250円(7,068千円) (内 急患患者13人／154,971円、付添人7人／90,090円)					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	専門病院受診渡航費助成の実施	目 標	(204人)	(助成の実施)	(助成の実施)	()	
		実 績	163人	助成の実施	助成の実施		
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成25年6月1日から渡航費助成事業を開始した。当初より村広報誌、住民説明会等で村民に周知した。 平成26年度から、村内診療所にて紹介状発行患者に対して、助成制度窓口宛て「紹介状発行証明書」をお渡し、制度の周知をした。 平成27年度から渡航前に窓口へ「紹介状発行証明書」の提出を誘導し、必要書類の案内、及び手続方法をチラシ及び口頭案内を行った。平成28年度からも引き続き、診療所との連携を行い、渡航前に窓口へ「紹介状発行証明書」の提出を誘導し、必要書類の案内、及び手続方法をチラシ及び口頭案内を行う。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	専門病院受診渡航費助成の実施 専門病院受診者 155人 付添人45人	目 標	()	(204人)	(115人 55人)	(155人 45人)	()
		実 績		163人	240人 52人	306人 69人	
	【参考指標】 南大東診療所から島外医療機関への紹介状発行件数	目 標	()	()	()	()	()
		実 績		264人	270人	284人	
	進捗状況説明	開始初年度の利用者は、診療所からの紹介状発行対比50%であった。 制度対象者へ診療所または申請窓口において、直接案内できたことから前年度実績292人を大幅に上回り375人の実績となった。 年々制度の周知・口コミにより、対象者の利用増に繋がった。 診療所からの「紹介状発行証明書」の発行を行い、保健センターへの提出を誘導することで、必要書類の案内、及び手続方法をチラシ及び口頭案内を行うことができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	申請書に添付書類として、①村内診療所が紹介状発行した事実(紹介状発行証明書)または、急患空輸患者(急患空輸要請書)、②沖縄本島専門医療機関主治医による診断書、③専門医療機関の領収書、④渡航費領収書、⑤搭乗券または乗船券(証明書含む)、⑥宿泊施設の領収書(1泊6千円以内、受診日及び前日の最大2日間)を必要とし、申請者の書類準備期間に時間を要する。	当該制度は南大東村内での治療が難しいとされる患者へ対する救済制度の為、左記①『村内診療所が紹介状を発行した事実』を確認するため、「紹介状発行証明書」を採用し、患者自身の自己判断による受診のための渡航費用の助成とならないよう制度の適正運用に努めた。 また、左記②『沖縄本島専門医療機関主治医による診断書』を必要とする際、従来は患者自身の口頭説明による診断書発行依頼であったため、記載内容不備となるケースの改善をし、平成26年度7月から(1)診断書記入例(2)制度案内チラシ(3)(1)記入例と同様式の診断書採用し、患者及び主治医の診断書にかかる労力削減に努めた。 平成28年度は、対象者がもれなく、申請ができるよう、窓口での説明に努め、また、高齢者の方の書類不備が目立つので、家族の方を同行するよう協力を求める。
今後の取り組み方針		
今後も村内診療所において、専門治療及び加療が必要な患者の渡航費助成を行うことで、経済的な負担軽減により、診療治療が中断することなく、専門医療機関での継続治療を促し、健康増進に繋げる。 (1)患者自身の判断で、専門治療渡航費の助成とならないように、適正運用を行う。 (2)渡航費の経済的理由により受診が遅れないよう、窓口での制度資料の配付や説明を行う。 (3)安易な理由(検査)で受診にならないよう、窓口での制度説明に努める。 (4)申請もれがないよう、保健センターだよりを有効活用し、制度周知する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7,853</td><td>7,068</td><td>5,654</td><td>1,414</td><td>785</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,853	7,068	5,654	1,414	785
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,853	7,068	5,654	1,414	785										
南大東村 7,068千円 補助金 7,068千円 村内住民 7,068円 費用(渡航費及び宿泊費)の1割を利用者(患者)負担額として交付対象外経費とする。(平成27年度785千円) 南大東村内診療所での治療が難しいとする者、且つ専門的な治療を必要とする者で渡航費及び宿泊費の経済的負担を軽減することを目的に費用助成														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的に沿った申請受付・審査・決定・決定通知・振込は、適正に処理されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											

市町村名	南大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	屋根付相撲場整備文化継承事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-エ	
担当部署名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成27～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	離島を支える多様な人材の育成	
事業内容	南大東島は、八丈島出身の方によって、開拓が始まり、しばらくたって、大東島の境内で豊年祭のときには、江戸相撲と沖縄角力の奉納相撲が行われてきた。平成26年には、奉納相撲が行われてから100周年目を迎えた。このように伝統ある江戸相撲、沖縄相撲をこれからも伝承していく必要がある。その為に、練習場及び試合場を整備し、雨天でも常時使用できる屋根付場を設置し、伝統文化継承を図ることにより南大東村振興を推進する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,616				
		(b)予算現額	5,400				
		(c)増減額(b-a)	▲216				
		(d)繰越額	—				
		A.計(b+d)	5,400				
	B.執行済額		5,400				
	うち交付金充当額		4,320				
	次年度繰越額		0				
	執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		平成27年度は、基本設計及び実施設計を実施。不用額は216千円は入札残によるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	委託設計実施	目標	（委託設計実施）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績	委託設計実施				
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
達成状況説明	有識者（南大東村相撲部OB）（南大東村相撲部）による土俵の位置及び規模等の検討を行い、基本設計・実施設計を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	27年度	28年度	29年度	目標値（年度）
	委託設計を実施し建設整備の条件を整える。	目標	（ ）	（建設整備の条件を整理）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績		建設整備の条件を整理			
	【参考指標】	目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	平成28年3月までに基本設計及び実施設計を行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	伝統ある江戸相撲・沖縄角力を継承するため、練習場・試合場の整備に対し、各関係者の意向を踏まえる必要がある。	土俵の位置や規模等の検証に際し村の相撲部及びOBの方々の意見を取り入れるとともに、沖縄県角力協会などによる外部有識者の意見も踏まえ設計業者と調整する必要がある。南大東村の人材育成として、江戸相撲・沖縄相撲の伝統文化を継承するため、今後関係機関との調整を行い相撲場の整備を実施する。
今後の取り組み方針		
南大東村の人材育成として、江戸相撲、沖縄相撲の伝統文化を継承するため、今後関係機関との調整を密に行い、相撲場の整備を実施する。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,400	5,400	4,320	1,080	0

南大東村
5,400千円

委託料
5,400千円

(株)かみもり設計
5,400千円

基本設計・実施設計

資金の用途の点検・評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模については不用額は入札残の216千円であり適正な規模であったと考えている。 ○費用・使途について額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	花いっぱいクリーン環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	産業課	事業実施（予定）年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	25年度（繰越）	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	23,577		9,224	7,637	
		(b) 予算現額	20,740		2,550	5,923	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,837	0	▲ 6,674	▲ 1,714	
		(d) 繰越額	—	9,388	—	—	
		A. 計 (b+d)	20,740	9,388	2,550	5,923	
	B. 執行済額		11,352	9,388	2,550	5,923	
	うち交付金充当額		9,081	7,510	2,040	4,737	
	次年度繰越額		9,388	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		54.7%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		工事植栽地面積が減となり、当初予算より1,714千円減額となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃（観光地 5箇所）	目 標	（ 美化清掃 ）	（ 5箇所 ）	（ 5箇所 ）	（ ）	
		実 績	美化清掃	9カ所	9カ所		
	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃（アクセス道路 1,500m）	目 標	（ ）	（ 1500m ）	（ 1500m ）	（ ）	
		実 績		2100m	2100m		
達成状況説明	観光地9箇所、アクセス道路2100mの植栽・美化清掃を実施した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	観光地へのアクセス道路の植栽による景観の向上	目 標	（ - ）	（ 美化清掃 ）	（ 景観の向上 ）	（ 景観の向上 ）	（ ）
		実 績		美化清掃	景観の向上	景観の向上	
	観光施設の清掃による利用度の向上	目 標	（ - ）	（ ）	（ 利用度の向上 ）	（ 利用度の向上 ）	（ ）
		実 績			利用度の向上	利用度の向上	
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
進捗状況説明	観光地のアクセス道路、観光施設の清掃を行って景観の向上、利用者の利用しやすい環境作りが出来た。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	各観光地、施設、アクセス道路の植栽・美化清掃を行った。 今後も美化清掃、アクセス道路の植栽を行っていき観光客の目を楽しませる箇所に実施できているか検討が必要である。 散水車購入により、平成27年度も干ばつであったため植栽場所等の灌水が行えた。観光客の目を楽しませる箇所に実施できているか検討した結果観光地が連なっている場所がまだ整備できていない箇所があった。 個人所有の古い刈払機を今まで使用してもらっていたため、新しく購入した刈払機に変え、作業効率が上がった。前年度までは観光地の細かい植栽を行っており、平成27年度は工事を行い手作業では行えない箇所の植栽が行えた。	今後も引き続き観光客の視点で見苦しい箇所がないか、確認して清掃、植栽を行う。 平成27年度に検討した結果まだ整備できていない箇所の整備を行う。 散水車の利用を干ばつ時に素早く行えるように気をつける。 花木用のバリカンを購入し、観光地清掃の効率を上げる。
今後の取り組み方針		
今後も観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。散水車を活用し干ばつ時の散水、台風後の道路清掃等にも役立てたい。また、植栽箇所については、観光客の目を楽しませられる箇所に実施できているか検討し、平成28年度以降の植栽箇所に反映する。		

資金の流れ														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>5,923</td><td>5,923</td><td>4,737</td><td>1,186</td><td>0</td></tr> </table> 南大東村 5,923千円 賃金 3,591千円 シルバー人材 3,591千円 備品購入費 136千円 沖縄県農業協同組合 136千円 工事請負費 2,196千円 株式会社 大智 2,196千円 観光施設・観光アクセス 道路清掃 作業員 3名 刈払機の購入 3台 植栽工事					総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	5,923	5,923	4,737	1,186	0
総事業費	交付対象事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
5,923	5,923	4,737	1,186	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、1,714千円減額しており、見直しが必要である。 ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南大東村						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	大池地区水辺環境保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	産業課	事業実施（予定）年度	平成24～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	本村最大規模のカルスト湖である大池は、水草が繁茂し景観を損なうだけでなく、生態系への影響が懸念されるなど、観光分野や環境保全の点から課題となっている。その課題を解決するために、水草除去、水路浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			24年度	24年度（繰越）	25年度	26年度	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	74,098	—	50,593	27,436	11,772
		(b) 予算現額	75,105	—	59,052	66,960	96,552
		(c) 増減額 (b-a)	1,007	—	8,459	39,524	84,780
		(d) 繰越額	—	37,526	—	—	—
		A. 計 (b+d)	75,105	37,526	59,052	66,960	96,552
	B. 執行済額		37,579	37,526	59,052	66,960	96,552
	うち交付金充当額		30,054	30,020	47,241	52,104	74,966
	次年度繰越額		37,526	0	0	0	0
	執行率（％）(B/A)		50.0%	100.0%	100.0%	100%	100%
予算の状況の説明		予算現額を増額し事業の早期完了を図った。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	大池地区水辺環境の保全・再生 ①水草の除去	目 標	（水草の除去）	（水草の除去）	（水草の除去）	（水草の除去）	
		実 績	水草の除去	水草の除去	水草の除去	水草の除去	
	大池地区水辺環境の保全・再生 ②水路汚泥浚渫	目 標	（水路汚泥の浚渫）	（水路汚泥の浚渫）	（水路汚泥の浚渫）	（水路汚泥の浚渫）	
		実 績	水路汚泥の浚渫	水路汚泥の浚渫	水路汚泥の浚渫	水路汚泥の浚渫	
達成状況説明	計画どおりの水路の浚渫・水草の除去が達成し水質の改善や水辺の環境保全が図られた。また、大池に繁茂している水草を除去しカヌーの安全航路が確保された。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	①水草の除去によるカヌーの安全航路の確保 ②水路汚泥浚渫による水流の再生 ③浚渫区間 L=80m 水草除去 L=1.5km 面積 A=29,520㎡	目 標	（ ）	①水草の除去 ②水路汚泥の浚渫	①安全確保 ②水流再生 ③供用開始	①安全確保 ②水流再生 ③水草除去	（ ）
		実 績		①水草の除去 ②水路汚泥の浚渫	①安全確保 ②水流再生 ③供用開始	①安全確保 ②水流再生 ③水草除去	
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	計画どおりに大池や水路の水草除去・水路の浚渫を実施し水質や水辺環境の保全が図られた。また、カヌー等の水郷めぐり観光の安全航路が確保され、池からの景観や渡り鳥・水鳥等の野鳥観察等、新たな観光資源の開発が図られた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業は、広域にわたっての施工が必要ため複数年にわたっての水辺環境の保全・水質の改善・観光資源の開発を目的とした水辺環境の保全事業が完了した。本事業は、水上作業が主であり作業機器が水に浮く特殊機器を使用しているためコストが高く、また、本作業機器は大型機器のため本村への海上輸送費も高額となった。事業の完了に伴い島の新たな観光資源として国内外に広く発信し島の活性化に繋げる必要がある。	これまで、大池へのカヌー等による水郷めぐり観光の観光資源の開発と水質保全を目的として点在する池と池を結ぶ水路の浚渫を実施し、観光資源の開発が図られた。また、これまで整備した水路や航路を観光資源として維持して行く手法について検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
事業の完了に伴い池からの景観や渡り鳥や水鳥の観察等、島の新たな観光資源としてインターネット等を利用し国内外に広く発信し島の活性化に繋げる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>96,552</td><td>96,552</td><td>74,966</td><td>21,586</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	96,552	96,552	74,966	21,586	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
96,552	96,552	74,966	21,586	0										
<pre> graph LR A[南大東村 96,552千円] --> B[委託料 1,512千円] A --> C[工事請負費 95,040千円] B --> D["(株)沖枝 1,512千円"] C --> E["(株)丸憲 95,040千円"] D --- F["水郷めぐり環境保全整備設計 管理委託業務"] E --- G["水郷めぐり環境保全工事"] </pre>														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○指名競争入札方式を採用しており選定方法は妥当であったと考える。 ○予算規模は、事業内容に見合った適正な規模であると考えられる。 ○費目・使途については、検査時に書類等で確認しており、事業目的に即していると考えられる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	シュガートレイン復活夢実現事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	平成25～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興	
事業内容	島の歴史と共に、のどかで活気あふれる時代を走った“さとうきび列車”は、近代産業遺産として島の象徴であり、復活することが島民の夢である。その夢を実現するとともに、全国の鉄道ファン(100万人)等観光客を誘客するため、シュガートレインを整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a)当初予算額	15,750	19,980	30,000		
		(b)予算現額	14,700	19,764	28,512		
		(c)増減額(b-a)	▲1,050	▲216	▲1,488		
		(d)繰越額	—	—	—		
		A.計(b+d)	14,700	19,764	28,512		
	B.執行済額		14,700	19,764	28,512		
	うち交付金充当額		11,760	15,811	22,809		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100%		
予算の状況の説明		不要額1,488千円は、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
	実施設計		25年度	26年度	27年度	28年度	
		目標	(基本調査・計画)	(委託の実施)	(実施設計)	()	
		実績	基本調査・計画	委託の実施	実施設計		
	目標	()	()	()	()		
実績							
達成状況説明	本業務は、昨年度の基本計画・基本設計業務の結果を踏まえ、観光列車としてのシュガートレイン復活実現に向けた施設整備のための実施設計書を策定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	実施設計の完了	目標	()	(基本調査・計画)	(基本計画・基本設計)	(実施設計の完了)	()
		実績		基本調査・計画	基本計画・基本設計	実施設計の完了	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	本業務は、シュガートレイン復活実現に向けた施設整備工事の実実施設計書の作成を目的に実施された。業務では鉄道の実施設計、関連施設の実実施設計、機関車の実実施設計、管理運営方針などの調査を実施した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	シュガートレインを廃止前と同じ軽便鉄道として復活復元に向けて鉄道事業法及び軌道法による検討を行ったが非常にハードルが高く断念することとなった。そのようなことから、遊具扱いとしての検討に移り全国の鉄道廃線跡を利用した事例等を調査した。全国には同敷地内で運営している事例はあるが本村のような村道等の道路を横断しての運営事例は少なく、秋田県小坂町の小坂鉄道レールパークと北海道三笠市の三笠鉄道村を参考に計画した。昨年度に策定した基本計画・基本設計業務の成果を踏まえ工事実施に向けた実施設計を策定するに当たり、交差する道路の横断については管轄警察署の指導により道路を優先として軌道側に遮断機を設置しシュガートレインとする観光列車が一時停車し、安全を確認した後に横断する設計とした。	実施設計書の策定により、今後は施設整備に向けた取組や工事実施スキーム等を村民へ説明し理解を得たい。
今後の取り組み方針		
本計画は、本村観光振興への大きな起爆剤として、また、その歴史を知らない世代や後世への受け継ぐ遺産として非常に重要な施設である。今後は、実施設計を基に将来的に村の財政への大きな影響与えないようしっかりとした施設整備を実施する必要がある。工事着手に向け、関係機関との調整を密におこない、各課題について解決するよう努める。また、事業完了後の供用開始に向けた観光客の受け入れについて村商工会、観光協会との調整を密にし、今後の観光客の増に備える必要がある。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>28,512</td><td>28,512</td><td>22,809</td><td>5,703</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	28,512	28,512	22,809	5,703	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
28,512	28,512	22,809	5,703	0										
南大東村 28,512千円 → 委託料 28,512千円 → 株式会社 沖縄プランニング 28,512千円 〔 実施設計書の策定 〕														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札方式で契約しており妥当であると考える。 ○予算規模は事業内容に見合った規模である。 ○事業費用については事業目的達成の観点から積算書類、支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南大東村						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 生きがいづくり安心安全強化対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ			
担当部課名	福祉民生課	事業実施（予定）年度	平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上		
事業内容	介護・福祉サービスの拠点である高齢者福祉センターのバリアフリー化と緊急災害時の避難誘導路を整備して高齢者、要介護者の安心安全と福祉サービスの充実を確保し、生きがいある社会福祉づくりをめざす。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,534	9,396			
		(b) 予算現額	519	8,662			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,015	▲ 734			
		(d) 繰越額	—	—			
		A. 計 (b+d)	519	8,662			
	B. 執行済額		519	8,662			
	うち交付金充当額		415	6,929			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		当初、玄関側の花壇を撤去する予定であったが、車いすや杖利用者の移動時でも障害とならないことから実施しなかった為、734千円の減額となった。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	高齢者福祉センター内のバリアフリー工事	目 標	（ 工事の実施 ）	（ 工事の実施 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	未実施	工事の実施			
	避難通路の設置工事	目 標	（ 工事の実施 ）	（ 工事の実施 ）	（ ）	（ ）	
		実 績	未実施	工事の実施			
達成状況説明	工事の一部分にアスファルト舗装があったが、島内に舗装業者が無く、プラントを常時稼働できる状況でなかった。そのため、島内における他の工事と調整することになり、工期の延長を行った。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	高齢者福祉センター内のバリアフリーによる安心安全の確保	目 標	（ ）	（ 確保 ）	（ 確保 ）	（ ）	（ ）
		実 績		未実施	確保		
	避難通路の設置による安心安全の確保	目 標	（ ）	（ 確保 ）	（ 確保 ）	（ ）	（ ）
		実 績		未実施	確保		
	進捗状況説明	車いすや杖などを使う方々が、トイレや入浴をする際、安心安全に移動できている。安全を第一に提供されるべき介護サービスの確保につながっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	当該施設は、自立可能な高齢者(概ね65歳以上)が利用できる施設として整備されていた為、バスやトイレの段差があった。又、施設周辺に花壇設置されていたので、高齢者や身体に障害がある方にとって、利用しにくい施設であった。今回の工事での段差解消、花壇撤去した結果、車いすや杖を利用している方々の安心安全の確保につながったが、個別トイレの段差解消など未実施の箇所がある。	個室トイレの段差解消は未実施である為、短期入所系サービスを行う際、不便であり安全への配慮が必要である。又、災害時避難者(車いすや杖利用者)の安全確保のため改善が必要である。
今後の取り組み方針 災害時避難施設や福祉施設整備に係る国庫の補助対象事業など調査し、事業化が困難である場合には村単独事業で個室トイレの段差解消を行い、更に安全と利便性の高い施設として整備していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,662</td><td>8,662</td><td>6,929</td><td>1,733</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,662	8,662	6,929	1,733	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,662	8,662	6,929	1,733	0										
南大東村 8,662千円 委託料 778千円 (有)ロフト建築設計事務所 778千円 工事請負費 7,884千円 (株)丸 憲 7,884千円 南大東村高齢者福祉センターバリアフリー化施工監理業務 南大東村高齢者福祉センター安心安全化工事														
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○施工監理業務は見積もり競争により、最低価格業者を選定しており、妥当である。工事について、一般競争入札に付しているのが妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○離島単価を利用した積算であり適正規模の予算であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については額の確定時において検査、確認しており適正であった。											

市町村名	南大東村						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	人材育成派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成25～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	Ⅲ-3 子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,832	2,902	3,237		
		(b) 予算現額	2,072	1,979	3,142		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,760	▲ 923	▲ 95		
		(d) 繰越額	—	—	—		
		A. 計 (b+d)	2,072	1,979	3,142		
	B. 執行済額		2,072	1,979	3,142		
	うち交付金充当額		1,658	1,583	2,513		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明		子供達の多様な能力と心身の発達や育成を図るため、島外で開催される各種大会の派遣をした。予算については、ほぼ計画どおり執行できた。					
活動目標（指標）及び達成状況			達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	吹奏楽コンクール12名 アンサンブルリコーダー5名 英語関係派遣6名 地区夏季・県中体連46名 ・地区陸上・駅伝大会26名	目 標	(106)	(92)	(95)	()	
		実 績	85	65	104		
			目 標	()	()	()	()
		実 績					
達成状況説明	①中学校地区総合大会【26名】柔道個人団体優勝、4名県大会出場バト女子シングルベスト8県大会へ。バト男子シングル1名団体県大会へ②英語関係派遣【6名】高円宮杯は、県大会出場。③柔道大会【20名】。④吹奏楽コンクール 【21名】奨励賞。⑤アンサンブル・ソロコンテスト【3名】銀・銅賞受賞。⑥バトミントン県大会【8名】1回戦敗退。⑦新人バトミントン大会【10名】3回戦敗退。⑧地区陸上【10名】個人の記録を更新。新人柔道大会競技において、優勝や、県大会出場。吹奏楽ソロコンテスト(2名)では、銀賞をとるなど、日頃の練習の成果が見られた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	多くの生徒と交流を図り文武両道の精神を養う	目 標	()	(106)	(精神を培う)	(精神を培う)	()
		実 績		85	精神を培う	精神を培う	
	各大会等派遣【95名】で練習の成果を発揮	目 標	()	()	(成果の発揮)	(成果の発揮)	()
		実 績			成果の発揮	成果の発揮	
進捗状況説明	各種大会派遣費により文武両道の精神を養い、進路の面でも十分に生かされた。すべての大会において、自己ベストを更新したり、前年度より上位に進出した大会が多い。特に男子バトミントンと英語スピーチコンテストでは、県大会出場を果たし日頃の成果を十分発揮できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成27年度においては、個人での活躍が見られた。団体のレベルを上げ、さらなる上位をめざすために、外部指導者や、地域団体との練習を多くし、自信を持ち活動をしていくことが重要である。文武両道を打ち立てて、短い時間でも集中して練習する時間の配分をする必要がある。又児童生徒の指導者の旅費等の補助も検討する必要がある。	一村一校なので、地域団体との練習試合や、多くの住民への発表の機会を増やすことで、自信や、心の強さを養い、いつでも平常心での活動が出来るように支援と派遣の助成を継続する。指導者の旅費の補助を要綱で定める。
今後の取り組み方針		
H30年度までの事業を継続する。派遣申請のある児童生徒の派遣費を補助し人材育成を推進する。外部指導者の利用や、専門家の指導で、成果の向上を図る。外部指導者や専門家の派遣については、地域の人材や、講師招聘を利用する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,456</td><td>3,142</td><td>2,513</td><td>629</td><td>314</td></tr> </tbody> </table> 南大東村 3,142千円 補助金 3,142千円 南大東村小中学校 3,142千円 費用(航空運賃・宿泊費)の1割は自己負担額とし交付対象外経費としている (314千円) 各大会等の派遣旅費として航空賃、宿泊費の補助 生徒 104名					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,456	3,142	2,513	629	314
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,456	3,142	2,513	629	314										
資金使途の流 れ、費目・ 点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金は、村立南大東小中学校で児童生徒の島外で開催される各種大会の派遣の補助金であるため妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○大会上位進出により予算不足が発生したので補正を組んで対処。おおむね適正な予算規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○保護者が負担できる最小限度の範囲として1割が妥当であると判断した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、航空運賃、宿泊費の一割は、自己負担が有り、支出等に関する書類により確認、適正であった											

市町村名	南大東村						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	人材育成環境強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施（予定）年度	平成26～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充	
事業内容	村営学習支援塾に講師を配置して、細かな学習支援を行い、質の高い確かな学習を習得させて、情報化社会に対応できる人材育成と学ぶ環境を整備する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,896	4,668			
		(b)予算現額	5,394	4,909			
		(c)増減額(b-a)	498	241			
		(d)繰越額	—	—			
		A.計(b+d)	5,394	4,909			
	B.執行済額		5,394	4,909			
	うち交付金充当額		4,315	3,927			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率（%）(B/A)		100.0%	100.0%			
予算の状況の説明		学習支援センター講師1名の報酬・共済費（平成27年4月1日～平成28年3月31日）					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	学習支援センター学習支援員1名	目標	（講師の配置）	（学習支援員1名）	（ ）	（ ）	
		実績	講師1名配置	学習支援員1名			
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実績					
	達成状況説明	学習支援センター学習支援員1名配置により細かな学習支援を行った。（週5回 主に国語 数学 英語 中間・期末その他テスト期間中は、土日も指導）					
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	26年度	27年度	28年度	目標値（年度）
	支援センターで学習している児童生徒が自己学習能力を身に付け、自ら課題に取り組み学力の向上を図る	目標	（ ）	（学力向上）	（学力向上）	（ ）	（ ）
		実績		学力向上	学力向上		
		目標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実績					
	進捗状況説明	各自課題を持って学習する態度が身につく、課題以外の学習にも熱心に向かう姿勢が出来てきた。小学生においては、決められた課題の確認・添削をしてもらい確認学習も行っていった。中3に関しては、全員が参加出来る体制で開放。全員が高校に合格した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①小学校の児童生徒については、部活動が優先され、小学校低学年が多く、小4から6年は、時間内の参加が少ない。 ②中学校に関しては、全校生徒の2/3が通っているが、真剣に学習に取り組む子と、軽い気持ちで取り組む子が見られる。	①部活動が優先され受講者が少ない小4から小6に関しては真剣に受講し継続指導を確立するため再度申込をする。 ②中学生に関しては学習内容の検討、学校との連携でひとり一人の学習進捗状況にあわせてきめ細かな学習指導をする。
今後の取り組み方針		
平成28年度から支援センターの内容、学習進捗状況をお知らせとして発行し、学習状況を保護者と共用する事によって学習意欲の向上から学力向上に繋げ、平成32年度までに全国平均との差を0とする。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,909</td><td>4,909</td><td>3,927</td><td>982</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 南大東村 4, 909千円 補助金 4, 909千円 報酬・共済費 4, 909千円 学習支援員1名					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,909	4,909	3,927	982	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,909	4,909	3,927	982	0										
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金先は、学習支援センター報酬・共済費として妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○学習支援センター指導講師報酬の予算規模は職員同等の採用として適正である。											
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については額の確定時において検査、確認しており適正であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南大東村						
平成２７年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	５－①	南大東村安らぎ空間整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（11）－イ	
担当部課名	福祉民生課	事業実施（予定）年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
事業内容	墓地管理の利便性を高めるとともに、参拝者や墓地利用者の安らぎの空間づくりに繋げるため、墓地整備計画に基づき、墓地内（合葬墓）を整備する。また、区画整理を実施する墓地の霊園化に向けた基礎づくりとする。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,308	36,745	10,038	10,000	
		(b) 予算現額	7,308	36,015	9,558	16,632	
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 730	▲ 480	6,632	
		(d) 繰越額	—	—	—	—	
		A. 計 (b+d)	7,308	36,015	9,558	16,632	
	B. 執行済額		7,308	36,015	9,558	16,632	
	うち交付金充当額		5,846	28,812	7,646	13,305	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率（％）(B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		南大東村霊園墓地整備事業費（合葬施設）の工事の追加等に伴い予算6,632千円を増額した。15,768千円のうち（15,660千円落札）工事を実施し、現場の状況を踏まえ変更協議を交わし追加工事を発注した。また、無縁墳墓等の遺骨回収業務に966千円のうち（864千円落札）で委託業務を実施した。不用額102千円は委託の入札残によるものである。					
活動目標（指標）及び達成状況	H27活動目標（指標）		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	合葬墓施設の整備開始	目 標	（ 測量調査 実施設計 ）	（ 舗装・路盤工（駐車場：3カ所・車路：1カ所）・排水工114m・擁壁工4箇所（93m） ）	（ 墓地区画全体 面積810㎡ ）	（ 合葬墓施設の 整備開始 ）	
		実 績	測量調査 実施設計	舗装・路盤工（駐車場：3カ所・車路：1カ所）・排水工114m・擁壁工4箇所（93m）の整備	トイレ・広場91㎡	合葬墓施設の整備開始	
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績					
達成状況説明	平成27年度、南大東村霊園墓地整備に係る合葬墓施設整備工事を実施し、年度内の1月に完成した。また、墓地埋葬法に基づき平成26年6月4日付け官報（号外第124号）に無縁墳墓等改葬広告の申請を掲載し、平成27年6月末で期日を迎えたため、同業で無縁墳墓遺骨回収業務を3月に実施、無縁墳墓28基中12基から遺骨を回収し合葬墓及び納骨堂に遺骨を収納し、年度内に業務を達成することができた。						
成果目標（指標）及び進捗状況	H27成果目標（指標）		基準値（年度）	25年度	26年度	27年度	目標値（年度）
	合葬墓施設の完成	目 標	（ ）	（ 舗装・路盤工（駐車場：3カ所・車路：1カ所）・排水工114m・擁壁工4箇所（93m） ）	（ 墓地区画 全体面積 810㎡ ）	（ 合葬墓施設の 完成 ）	（ ）
		実 績		舗装・路盤工（駐車場：3カ所・車路：1カ所）・排水工114m・擁壁工4箇所（93m）の整備	トイレ・広場91㎡	合葬墓施設の完成	
	【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	南大東村霊園墓地整備事業のうち合葬墓施設整備等の工事を実施、年度内に完成することができた。また、無縁墳墓28基のうち12基から遺骨の回収を行い、合葬墓に収納することができた。なお、無縁墳墓改葬にあたり無縁墳墓台帳にて区番地、位置図、写真等に振分け管理している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○平成24年～27年度までに身元が分からない無縁墳墓(30基)に立て看板を設置し、地元住民立会いのもと現地調査を実施、2基の身元の判明に止まった。 ○平成26年度に墓地埋葬法に基づき平成26年6月4日付け官報(号外第124号)に無縁墳墓等改葬広告の申請を掲載し、平成27年6月末で期日を迎えたため、平成27年度3月に同業で無縁墳墓遺骨回収業務を実施した。 ○無縁墳墓28基中12基から遺骨を回収業務に取組み、合葬墓(10基)納骨室に(2基)を納めた。	○無造作に見つかった無縁墳墓に対し村として約4年間掲示板を設置し身寄りの方々を探したが見つからず墓地埋葬法による手続きを申請した。 ○無縁墳墓(28基)改葬した際に遺骨12基を回収、合葬墓に収納した。万が一にそなえ沖縄メモリアル協会職員の指示の下、遺骨は腐敗が出ない土嚢袋に収納し区番地毎に管理している。今後、身元確認者が現れても対処できるよう無縁墳墓管理台帳に区番地、位置図、写真等を記載管理した。 ○無縁墳墓の遺骨については大正、昭和時代のも物であり既に33回忌を超えている可能性が高いとのこと今後の管理体制の対策を墓地検討委員会に委ねる必要がある。
今後の取り組み方針		
平成27年度については墓地区画事業に沿って合葬墓施設整備を完成することができた。今後の取組は、平成28年度中に「南大東村霊園墓地」の完成に取組み区画整備、駐車場、車道等の整備を実施していく。また、平成29年度の開業(祭儀)を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
16,632	16,632	13,305	3,327	0
南大東村 16,632千円 委託料 864千円 公益財団法人沖縄県メモリアル整備協会 864千円 南大東村霊園墓地無縁墳墓遺骨収集委託業務 工事請負費 15,768千円 株式会社 大智 15,768千円 南大東村霊園墓地整備工事(合葬墓)				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者の選定は、村への指名参加名簿より企業組織、実績、知識等を指名競争入札委員会で適正に審査しており、妥当である。 ○予算規模は事業内容に見合った規模である。 ○費目・使途については事業目的に沿った内容であり、積算精査・竣工、支出等に関する書類により確認、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		